

授業科目名	助産診断・技術学 (2300264)		
時間割名	助産診断・技術学 (44209)		
時間割担当	服部律子		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	木・4		

授業の目標・概要

妊娠期の身体的・心理的・社会的側面から対象となる妊婦の正常経過とその逸脱を判断するために必要な基礎的知識を学ぶ。助産過程の展開に必要な助産診断と健康診査に必要な助産診断技術の基本を習得する。妊娠各期に特有なマイナートラブルを学び、その対処に必要な保健指導案を各自で作成する。

学習の到達目標

1. 妊婦の正常な妊娠経過を支援するために必要な助産診断と助産技術の基礎的知識を習得する。
2. 妊婦に対する保健指導案を作成できる。

授業方法・形式

講義（一部演習）

授業計画

- 第1回 ガイダンス 妊娠期の助産過程
- 第2回 妊娠初期の助産診断
助産診断の視点、アセスメントツール、妊娠初期の正常逸脱
- 第3回 妊娠初期の助産診断技術
妊娠の成立の診断技術、胎児心音聴取、妊娠経過の診断技術
- 第4回 妊娠初期の妊婦と家族への助産ケア
妊娠の受容、妊娠初期のマイナートラブルへのケア、妊娠中の生活
- 第5回 妊娠中期の助産診断
助産診断の視点、アセスメントツール、妊娠中期の正常逸脱
- 第6回 妊娠中期の助産診断技術
胎児の発育状態の診断技術、妊娠経過の診断技術
- 第7回 妊娠中期の妊婦と家族への助産ケア
親になる準備、異常の予防、マイナートラブルへの対処
- 第8回 妊娠後期の助産診断
助産診断の視点、アセスメントツール、妊娠後期の正常逸脱
- 第9回 妊娠後期の助産診断技術
CTG判読、胎位胎向、妊娠経過の診断技術
- 第10回 妊娠後期の妊婦と家族への助産ケア
分娩準備、異常の予防、マイナートラブルへの対処
- 第11回 事例を用いた助産診断過程の実際
- 第12回 保健指導案作成方法
- 第13回 保健指導案作成方法
- 第14回 妊婦へのケア演習
- 第15回 まとめ（発表会）

成績評価の基準

定期試験60%、レポート30%、質疑応答・授業へのリフレクション10%

授業時間外の課題

復習は必ず行い、わからないところは解決してから次の授業に臨むようにしましょう。また、保健指導案の作成には自己学習が必要です。

メッセージ

周産期医学での学習内容や、関連する母性看護学・助産学の科目での学習内容と統合しながら学ぶよう心がけてください。

教材・教科書

我部山キヨ子編、助産学講座6 助産診断・技術学 [1]妊娠期、医学書院

参考書

参考書等は、適宜、提示する。